

カトリック六甲教会 教会報

2011

5

No.473

“ロザリオの輪”

助任司祭 片柳 弘史

新たな地区会を土台として生まれ変わろうとしている六甲教会では、今「つながり」という言葉がとても大切にされています。地区の「つながり」を土台にして、信徒間の横の「つながり」を育てていこうということです。

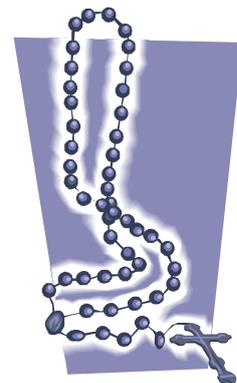
「つながり」というとき、わたしはいつもロザリオの輪を思い出します。ロザリオのたくさんの玉は、一本の鎖に結ばれている限り、いつまでも終わることのない祈りの輪を神様にお捧げすることができます。ですが、もし鎖が切れてしまえば、ばらばらに散ってどこかに行ってしまうでしょう。ロザリオは、つながっているからこそロザリオなのです。

教会もこれと似ているような気がします。わたしたち一人一人は玉のようなもので、教会の絆で結ばれている限り、一つの世代から次の世代へといつまでも終わることのない賛美を神様にお捧げすることができます。ですが、もし絆が切れてしまえば、ばらばらに散ってどこかへ消えてしまうことでしょう。教会も、つながっているからこそ教会なのです。

わたしたち一人一人を結びつけて教会を作り出す絆、それは何よりもイエス・キリストに希望を置く信仰でしょう。一つの同じ信仰に結ばれて、わたしたちは教会という輪を作り上げるのです。一箇所に集まるだけではすぐばらばらになってしまうかもしれませんが、教会に集まって共に祈るとき、わたしたちの間に信仰の絆が結ばれます。この絆は、それぞれが家に帰っても、同じ神に祈り続ける限り消えることはありません。目に見えない信仰の絆は、いつどこにいてもわたしたちを教会の大きな輪に結び付けるのです。

信仰の絆は、目に見える人間同士の「つながり」によって支えられる必要があります。どんなに強い信仰を持った人でも、同じ信仰を持った者同士で互いに励まし合うことが無ければ、その信仰を守り続けることは困難でしょう。新たに生まれ変わった地区会には、目に見える人間的な「つながり」によって、目に見えない信仰の「つながり」を支える役割があるとわたしは思っています。

「つながり」の大切さを思いながらロザリオを祈るとき、聖母が必ずわたしたちの信仰を強め、教会の絆を深めてくださることでしょう。聖母月であるこの5月、教会の「つながり」が人間のぬくもりと優しさに支えられながらわたしたちを結んでいくよう、聖母の取り成しによって祈りましょう。





【神の像】

人間は神を知り、愛するために造られ、創造の完成に参加すべく呼ばれたものである。この神の創造の意志には、人間の自由による違反とそこから生じる無秩序とともに、キリストによる回復も予見されていた。

(1) 「神の像」としての人間（聖書の中から）：

① 「人間は神にかたどって造られたものである」神の似姿（現代世界憲章 12 項）

創世記の著者の考えはどうであったか。人間は神の相手である。神は語る、人間は聞く、神は人間に希望をかける。そこで人間は神を知り、愛し応えることが出来る。それらは必然的に起こることではなく、応えようとする姿勢が大切（創 21:27）。人間の答えは、選び・選択（シラ 15:11-17, 17:3-12）。いずれを選ぶかは人間側の責任。

② 人間は社会的な生き物

人間は他の人のために生きる。

創 1 章→男と女を創造された。2 章はそれを物語として語る。神はアダムの寂しさを感じ「人は一人であるのは良くない」とし、エバを造る。

神が一つの民を選ぶ→イスラエル人は神に属する民として選ばれた。

バベルの塔の話→これは“国民の奢り（人間社会の危険性）”。

③ 「罪」

これは人間の自由意志の乱用（神に背く）。人類の罪の深さについて（現世 13 項）。社会問題に対する心使い（教皇回勅）。構造としての罪（社会構造悪）。

④ 人間存在の構造

キリスト教は、人間に魂・心があると考えた。これは二元論的に考えるのではなく、一体として捉える。人は二つではなく一体（精神と肉体）（現世 14 項）。

「人間はコルプス（肉体）とアニマ（靈魂）を持っている一つの存在者である」（DS902）。トマス：理性的な魂は、人間の唯一の形相。それは第一質料と一致して人間となる。「教会は、靈魂は不滅である」と教える（第五ラテラン公会議 DS1440）。死んでも人間のアイデンティティは存続することを言う。魂の救い（フィリピ 1:23, I コリ 5:8, I ペト 3:17-19）。これらの思想を旧約聖書は（知恵 2:23, 3:1-4）神によって支えられているから永続する。

プロテスタント：20 世紀

人間は死ぬとき、すべて無になる。そして神が最後に同じ人間として復活させると言った。

⑤ 人間の理性と良心と自由

人間の大きな尊厳：人間は絶対的なものと繋がっている（現世 15, 16, 17 項）。

⑥ 人間以外の世界との関わり

すべてを自分に合わせる、動物を支配する（創 1:26-27, 9:3）。

人間ばかりを強調するが、それ以外のものについて鈍感である。

「神が人間を造られて被造界を発展させる役割を与えている」。人間は園丁として、人間に相応しい住処にする。同時に調和を保つ知恵を尊ぶことは、大切な仕事である。そして、他との共存を大切にする（第二バチカン公会議）。

⑦ 世界創造と契約

契約思想からすると世界創造は最初の救い。

神はすべてを愛している（知 11:21-26）。神の造られた世界の中に、いろんな契約を結ぶ。

a. モーセとの契約 : 制限・閉鎖的・他の国民に冷淡。

b. アブラハムとの契約：更に広い。アブラハムの子孫によってすべての民が救われ祝福を受ける（創 18:18, 28:14）。

c. ノアとの契約：すべての生き物との契約（創 6:8-22）。

⑧人間とキリストとの関係

キリストを見ればわかるという。アダムの創造はすでにキリストを目指していたという。エフェソ 1 章 10 節「キリストのもとにすべてをまとめる」頭はキリスト、そして、宇宙万物はそれに向かっている。

教父たち：最初の間が、神の似姿であるというより、神の似姿となるように造られたと言う神の完全な似姿は、神の御子・復活した御子キリスト・他の人々はその似姿に向かって、そうなるように創られた（キリストに倣って、向かうように）。

(2) 世俗化 (Secularization; セクリャライゼーション) :

教会の支配からの解放として用いられた。中世は教会中心（欧州において）の社会であり、人々の一切の働きを拘束していた。これに対抗した反感・反動が、ルネサンス時代から始まり、啓蒙主義時代・フランス革命へと益々強く発展し、教会の財産の略奪、信教の自由の主張が起こった。（米国では信教の自由を認める）

聖書：世俗化を歴史における原動力として、世界の隅々まで浸透させて生きつつある根源は、神の世界創造に関する思想である。つまり、聖書は神の絶対権を認めて、神を神とし世界の創造者であり、絶対の支配者であるから、世界内の存在には、何らかの神秘性も権威もない。

①コロサイ 1:15-20 において、すべての権能と力は、キリストの受肉によって非神話化されている。

②マタイ 25:40, エレミヤ 22:16 などにおいて、神中心と人間中心の内的統一・神への奉仕と世界への奉仕の一致が主張される。

「人間が真理を認めるところに、社会は何も圧力をかけてはいけない」（第二バチカン公会議）。信教の自由は自分のためだけでなく、すべての人々のためにある（現世 76 項：カトリック教会も国家に何の特権も要求しない）。

科学の独自性（現世 36, 41 項）、教会はそれに口を挟まない。すべての学問にそれぞれ方法があってそれを認める。キリスト教信仰に邪魔するものではない（越権行為がなければよい）。教会は福音的・倫理的な大原則が犯されるときにおいてのみ抗議する。つまり、具体的な細かいことに聖職者が巻き込まれることは良くない。それは信徒に任せる。例えば、政治に対して教会から具体的な指示・運動をしてはいけない（パウロ 6 世 “諸民族の発展”）。神による世界創造。そして神のみ言葉の受肉が世俗化肯定と世俗化推進の根源である。

(3) キリスト教的ヒューマニズム (人間を中心とする思想と行動の様式である) :

①創世記において、神は人間をご自分の似姿として創られた。

②ヨハネ 1 章：み言葉が肉・人間となった。

③I テモテ 2 章：神がすべての人の救いを望んでおられる。

この種からキリスト教のヒューマニズムが育つのに時間がかかる。

『キリスト教的ヒューマニズムの八つの命題』

- ① 存在することは善であり、調和と進歩は神の意志である。
- ② すべての人が神の似姿である。
- ③ キリストはすべての人の救いであり、聖霊はすべての人の心の中に働く。
- ④ 理性と良心の判断には従うべきである。
- ⑤ 人間は成長すべき存在であり、各分野での人間の発展に貢献しなければならない。
- ⑥ 悪い欲などと戦うべきである。
- ⑦ 人間は他者を愛することによって成長する。
- ⑧ 神のために有限な価値を放棄することには意味がある。

主任司祭

松村信也

2011年東ブロック合同堅信式

日時：5月29日(日)11:15～
場所：カトリック神戸中央教会
司式：池長大司教

六甲教会から8名(大人4名、中高生4名)が堅信を受けます。みなさまもご参列いただき、一緒にお祈りください。

堅信式の準備として、事前に勉強会とリハーサルが開かれます。

勉強会

日時：5月15日(日)13:00～17:30(予定)
場所：カトリック神戸中央教会集会室
内容：秘跡、堅信などについて
※ 筆記用具をご持参ください。

堅信式リハーサルと準備会

日時：5月21日(日)13:00～17:00(予定)
場所：カトリック神戸中央教会聖堂・集会室



神様の豊かな祝福がありますように…

“カトリック神戸地区大会”に参加しましょう

神戸地区宣教司牧評議会主催の「神戸地区大会」が6月5日(日)神戸海星女子学院講堂で開催されます。2年毎に開催される神戸地区11小教区(三田、住吉、六甲、神戸中央、鈴蘭台、兵庫、たかとり、垂水、北須磨、明石、洲本)の信徒の大集会です。池長大司教司式のミサのあとイベント(各小教区の画像による紹介と出し物)があります。六甲教会からは、聖歌隊による美しい歌の披露があります。

また、典礼オルガン奏者に三浦優子さん、総合司会を村田恵美さんをお願いしています。ご期待ください。

ポスターは田中雅子さんに製作をお願いしました。山と海は神戸を、最上段の色取り取りは神戸の特色である国際性を、海に浮かぶ船は“on the same boat”、つながりと一致を表わしています。色合いも神戸らしく爽やかです。もう一度ポスターを見てみて下さい。

みなさま、ご参加ください。

神戸地区大会実行委員会 川合弘一

小教区評議会 議長団ご挨拶

議長 蛭田 武

私の六甲教会との関わりは、中学時代に遡ります。中学3年生の時旧聖堂で洗礼を受け、学校帰りよく立ち寄りしました。高校卒業後は自宅近くの須磨教会（現在北須磨教会に移転）に所属し、しばらく六甲教会からは離れていましたが、縁あって結婚式（薄田神父司式）をここで挙げて以来、今日に至っています。ほぼ40年間この教会で信徒生活を送っていることになります。

この度、松村神父様から小教区評議会議長の打診を受けた時、一瞬躊躇いましたが、ここで培った経験を少しでも生かし、お役に立てればとお引き受けした次第です。

私自身、もう数年で三日月会の仲間入りの年齢に達しますが、まだまだ「迷える古羊」です。任期の2年間、皆様のお力を借りながら与えられた役割を果たしていこうと思っています。

先日、第1回目の議長団のミーティングを行いました。今年度は「**地区会活性化の為のサポート**」を指針に掲げ、地区会を基盤に**協力し合い、支え合える小教区づくり**、そしてそこから**福音宣教が生まれる土壌づくり**に専念したいと思います。

平成22年度はハード面での環境づくりがなされましたが、平成23年度は「**心の通い合える、生き生きとした、開かれた小教区**」を目指したいと考えています。微力な私ですが、何卒、皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

副議長 河野光成

私は、35年程前に六甲教会に転籍しました。まもなく、2人の子供に洗礼を授けていただき、一家4人が信者になるという幸せに恵まれました。その頃、大阪釜ヶ崎の夜回りに参加しました。

また、当時NICEが提唱され、昭和63年頃六甲教会も11の地区に分割されて、私も若くして地区の世話人として活動したことが思い出されます。

その後はいわゆる日曜信者として平凡な生活を過ごしましたが、15年程前に壮年会にお誘いを受け、壮年会会計、会長、評議会財務、副議長を務めました。ここ4年間程は教会活動からは遠ざかっていましたので教会内部の様子はよくわかりませんが、今回、声を掛けていただき「**みんなが共に歩む教会**」をモットーに、微力ではございますが役員の一員として教会活動に参加させていただきたいと思っています。

何卒よろしくお願い致します。

副議長 北上 千恵子

このたびは 思いがけず副議長の大役を仰せつかりました。社会活動部のコーディネーターの仕事もいろんな方に助けられて無事やり終え、次期コーディネーターも決まりほっとしておりました。

何の知識や経験もない私にとって、とても荷が重く不安ですが、松村神父様、蛭田議長、河野副議長の補佐役として、全力でご奉仕する覚悟です。

前任のお三方は、主任司祭と新生六甲教会のためにご尽力されました。やっと礎ができました。

私たちはそれを受け継ぎ推進していく役目です。未来を担っていく子どもや孫にとって、「**温もりのある教会**」にしていくという、主任司祭のお言葉どおりの教会になりますよう、皆様のお力をいただけるように努力いたします。人の想いは一瞬のうちに届くといいです。ひとりひとりの気持ちがひとつになりますように、お互いに思い合って温もりのある教会になりますように、神様に祈る毎日です。

どうぞよろしくお願い致します。

～地区会便り～

2011 年度第 2 回地区役員会議事録

2011 年 4 月 10 日

地区会コーディネーター 橋岡尚美

- 4 月 25 日の司祭歓迎会についての報告…灘西・中央地区より
食べ物、会場準備などについてのみ担当し、進行は青年会にお任せする。
当日 10 人程度のお手伝いの予定。
サンドイッチ（購入）と簡単なお菓子、飲み物を用意。アルコールは壮年会に依頼。
手作りケーキが必要な場合は個人的に依頼するかもしれない。
※教会のパーティなどはいつも無料であるが、会費をとって人数を確定する事を考えた方が
良いのではないかと。…今回については無料で献金箱を置くことを考える。
- 教会のしおり配布状況
2 週間ミサの前後に配布し 397 冊が配布された。あと 2 週間続ける。その後は各地区で配布。
- 地区役員の分かち合いについて
地区会コーディネーターの飯塚さんが担当し、神父様と相談の上進めていただく。
第 1 回目は 6 月 12 日の小教区評議会報告会の後。
- 各地区の連絡網作成状況報告
灘北 1 24 日に完成予定。表紙+全体の概容+各連絡網を各戸に配布。
灘北 2 完成済み。全部で 2 枚の連絡網を各戸に配布。
灘南 3 月末に完成済み。3 地区に分けて名簿を付けて配布予定。
灘西・中央 完成済み。6 班にわけ、それぞれの連絡網と全体の名簿を配布。
東灘北 1 ほぼ完成。17 日の地区会で小さいブロックのもののみ配布。
東灘北 2・芦屋・前世話人さんによって作成してもらったものを調整中。17 日に地区会。
東灘南 連絡網は完成し小さいブロックごとに配布済み。
神戸西 未完成。
北・三田 返信の無い方には電話で連絡し、連絡網を完成。
阪神 完成済み。
次回役員会（5 月 15 日）までに各地区とも配布まですませ、16 日から施行する予定。
- 連絡網メールシステムについて
先週、教会のしおりとともに説明プリントを配布したところ、一週間で
70 件のアドレスが登録されていた。
電話連絡網とあわせて施行できるようにする。
- 用語の徹底について
地区名、役職の呼び方など混乱しているようなので、信徒の方々に覚えて
いただくためにもなるべく正しいものを使用してください。特に、文書に
する場合は気をつけて欲しい。



- 掃除当番について
地区毎に行うので一週間前には連絡網で知らせて欲しい。
今年から信徒会館のロビーも範囲に入っています。
最低 10 人は必要なので地区全体で行って欲しい。
- 墓地の清掃について・・・婦人会より
今までは墓地の清掃は個々の所有者にまかされていた。信徒の年齢が上がり、たびたびの清掃が困難になっている家庭もあり、又共同墓地の清掃も行き届いていない。今まで教会のために尽くしてくださった先輩方のお墓を皆で清掃してはどうか。年に 3 回ある墓参りの前に各地区で担当して清掃すると、2 年に一度回ってくるだけなのでできるのではないか。婦人会役員が手伝っても良いと考えている。
※ 墓地をそこに持っている人と無い人（他のところに用意している家族もある）があり、利害関係が生じるのではないか。
※ 地区会では今年形をかえたばかりであり、新しい仕事をするのは時期が早すぎるのではないか。
この件についてはコーディネーター預かりということで、次回役員会で再度話し合う。
- 教会報への掲載について
今後、教会報に必ず地区会の活動について記事を掲載する。5月号、6月号には地区役員会議事録を掲載予定。7月号は地区紹介を灘北1地区が担当する。
できたら「地区会だより」などとタイトルをつけ毎号同じ部分に掲載していただきたい。
- 転入者、受洗者に向けての対応について
各地区の案内カードを事務所に置いておきその都度渡していただく。
受洗者については、洗礼式の日程がきまった時点でコーディネーターに知らせてもらい、地区役員はなるべく洗礼式に出席し、お祝いし、直接コンタクトをとるようにする。
転入者については、事務所から連絡があった時点で地区役員から直接連絡をとるようにし、清掃当番やその他地区の事を説明する。
(復活徹夜祭の受洗者については 17 日までに各地区に連絡します。)

以上

メールアドレス登録のお願い

六甲教会メールシステムを作りました。メールアドレス（携帯でもPCでも）をお持ちの方は、「教会のしおり」と一緒に配布いたしましたプリントを参考にそれぞれで登録していただきますようお願いいたします。

旧地区世話人の皆様へ

2010 年度まで地区世話人として地区会のお世話をしてくださった皆様、大変長い間ご苦労様でした。長年にわたって世話人の仕事を続けてくださっていた方も多く、ずい分大変な事もあったと思います。特にこの2年の間名簿の確認、整理の作業や新しい地区会に向けての準備など多大な力を尽くしていただきました。本当にありがとうございました。個人的にも至らないことの多いコーディネーターをずいぶんと助けていただきました。おかげさまで新しい地区会を発足し、ようやくスタートすることができました。心から感謝申し上げます。

今年度からも連絡網や教会行事の手伝いの場で地区役員をサポートする強力なメンバーとなって地区会を支えていただきたいと思います。今までと同様にお力をお貸しいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。
地区会コーディネーターより

<活動報告>

∞∞∞ 東灘北2・芦屋地区の第一回地区会報告 ∞∞∞

4月17日、主任司祭同席で東灘北2・芦屋地区の第一回地区会を開催し、新地区会の意義・目的を伝え、今後の具体的行動の取決めをしましたが、参加者がメンバーの15%程度であった為、欠席者にも趣旨を伝えたいのと最初の掃除当番が5月6日なので、教会報の紙面を借りて報告を致します。

東灘北2地区 地区長 馬場信次

【東灘北2・芦屋地区発足会議事録】

- ・日時 4月17日 11:30~12:30
- ・出席者 松村神父様及び地区会メンバー 38名

神父様のお話の後、討議に入り、出席者が今回の地区会の意義を理解し賛同することを確認した。

4月からスタートする地区会について

信徒を地域別に7地区3ブロックに分割

まず地区・ブロック単位で集会、活動を実施し地域内の繋がりを深める

- ・地区・ブロック単位で連絡網、住所録を配布
- ・行事（掃除当番、葬儀受付等も含む）は上記地区・ブロック単位で担当を決め輪番で実施
- ・集会はすべて教会で実施

できるだけ集会は第一日曜日の三日月会喫茶を活用する

- ・本日配布の連絡網（案）の変更修正要望は4月末までに事務所前の地区トレーに入れておく

報告 東灘北2・芦屋地区 副地区長 井川 直哉



<活動報告>

∞∞∞ 手作りコーナーからの報告 ∞∞∞

教会の信徒活動の一つとして、毎月第3日曜日、イグナチオホールで手作りものを販売しているコーナーから、感謝のご報告をさせていただきます。

メンバーは10名ですが、心をこめた手作り弁当、炊き込みご飯、寿し、ケーキ・パン・ジャム等売っています。また布バック、手芸品、手製カードなど信徒の皆様からご寄付頂いています。一方では信徒の方々のお買い上げのご協力を頂き、いつも温かいご支援に、メンバー一同、心より厚くお礼申し上げます。

表のように各会へささやかですが支援させて頂いて居りますことをご報告いたします。皆様のご支援を支えに細々とながらこの活動を続けて参りたいと思っています。共同体の大勢の方たちとの交わりの中で祈りながら活動できますことを感謝申し上げます。本年度もよろしくお願ひ申し上げます。

旅路の里	50,000
子どもの里友の会	30,000
アフリカを支える会	50,000
六甲教会	50,000
東日本大震災(募金)	50,000

この度の東日本大震災、目を覆うばかりの被害状況を見るたびに、自然の恐ろしさと原子力発電事故の恐ろしさを強く実感します。その中で立ち上がろうとする人々、その方たちを援助する世界中の人たちの姿に胸熱くなる思いです。祈ります。原発事故の被害が最小限に抑えられますように。亡くなられた方が永遠の安息をえられますように。被災された方たち、復旧活動に直接携わっている方々の上に危機を乗り越える力をお与え下さい。

祈りと感謝の内に

手作りコーナー一同

<行事報告>

∞∞∞ 久々の共同回心式(4月10日) ∞∞∞

4月10日四旬節第5主日、二年ぶりに共同回心式をミサ中に実施した。聴罪司祭は五人、第三修練を終えて再び六甲教会に助任司祭として派遣された片柳神父、京都の聖母女子短大の学長の任期を終え今年度から六甲に協力司祭として派遣されたコリンズ神父、そして安芸神父、六甲学院の赤松神父と主任・松村が担当した。

10時のミサ中の回心式ということもあり、いつもより遙かに多い358名の信徒がミサに参加した。そのうち約150名余の方が“ゆるしの秘跡”与った。また当日、与れなかった方々は翌金曜日のミサ後、“十字架の道行き”途上に秘跡に授かった。

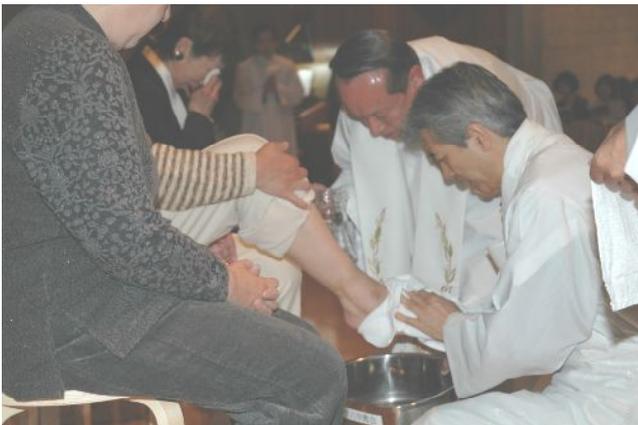
近年、“ゆるしの秘跡”に授かる人が減少してきているという噂を聞いていたが、ここ六甲教会ではなかったことに司祭団は“ホッと！”した。

ゆるしの秘跡は“裁きの体験”ではなく“恵みの体験”であること。それを信徒の方が十分理解していることに安心し、かつ神様からの恵みが、信徒の方々に沢山注がれることを司祭団一同お祈りした。神に感謝！

主任司祭 松村信也

<行事報告>

∞∞∞ 復活の聖なる三日間(4月21~24日) ∞∞∞



聖木曜日 洗足式



聖金曜日 十字架の賛美式



復活徹夜祭 洗礼



復活徹夜祭 初聖体



喜びの受洗者

復活の日中のミサ



「勝利した復活のキリストにつながる者として、新しく生きよう」



用意されたイースターエッグ
祝福され、中高生の手で配られました。

ミサ後のパーティ



「ご復活、おめでとう！」



着任の神父様方によるケーキ入刀
「初めての共同作業です(!?)」



コリンズ神父様のおひげは
ふわっふわっな感触！



「Ver. 1.2 の使いやすさです」



「片柳神父とかけて 山羊ととく」
「その心は？」
「どちらもカミ（神・紙）が大好き！」

《各部だより》

各専門部会の活動をお知らせいたします

小教区評議会

5月8日(日)10時ミサ後

地区会

5月15日(日)11:30 第3回地区役員会

三日月会

5月16日(月)14:00 ミサと例会

中高生会

5月15日(日) 遠足

教会学校

5月1日(日)10時ミサ 初聖体と祝福式
ミサ後、お祝い会

5月22日(日) 遠足

典礼部

5月21日(土)10:00 部会(第4会議室)

広報部

5月28日(土) 教会報発行

施設管理部

5月22日(日) 部会



《お知らせ》

教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

★社会活動部より★

5月 4日(水)10時 ♪手芸の集い 第1・2会議室 どなたでも参加ご自由です。

14日(土)10時 ♪炊き出し 小野浜グラウンドにて、配食やおじさんたちのお話し
相手だけでもOKです。

22日(日)10時ミサ後 ♪ミニバザー(イグナチオホール)お弁当・手作り品等の販売

27日(金)9時半 ♪ともしび ケーキづくり お台所

★図書室よりお知らせ★

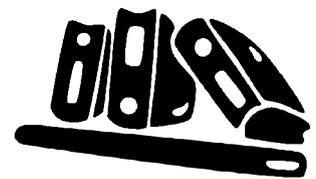
4月から新たに図書室の利用が可能になりました。教会報3月号でお知らせいたしましたとおり、本の借出しには図書利用者カードが必要となります。

図書をご利用される方は；

- ① 図書利用者カード申込みを教会事務所にて申請して下さい。
 - ② 今回よりお申込みの際、図書の保安全管理ならびに連絡にかかる諸経費として、¥100程度の献金をお願いします。
 - ③ 図書の貸出の際には、教会事務所カウンター備え付けノートに必要事項を記入して下さい。返却の際はノートに済印を押し、ご自分で元あった場所に借りた本を戻して下さい。
- ※ 詳細は、受付事務所前、図書室に掲示の「利用のしおり」を良くお読み下さい。
皆様のご利用をお待ちしております。

【注記】

- * 禁帯出シールの貼られた本は図書室内での閲覧のみ可能です。
- * 視聴覚資料の棚は1階ホールに移動します。こちらのCDやテープ等も貸出いたします。
貸出・返却要領は、「利用のしおり」をお読み下さい。



∞ 墓地 NOW ∞

墓地の桜も終わりコバノミツバツツジの赤紫色が周辺の木立の中に見え、お墓参りには良い季節となりました。最近の情報をお伝えいたします。
=墓地委員会・SF=

* 3月13日(日) 春の墓参 納骨式が行われました。

納骨者のお名前が刻銘されました。ご確認ください。

* 4月20日(水) 水場が出来ました。

長年ご不便をおかけいたしました。やっと水利権などの面倒なことが収まり設置することができました。場所は共同墓地より長い階段を下りた辺りです。近々にバケツ、ほうきなどを準備いたします。ゴールデンウィークには使用可能です。



階段を下りたあたりに設置



水栓とバケツ収納棚



宣教を考える黙想会

——— 地区に開かれた宣教 ———

日時：5月28日(土)

時間：10:00～16:00

指導：片柳弘史神父

場所：六甲学院生徒研修所

会費：500円(昼食代含む)



みんなの広場

諏訪榮治郎被選司教様のこと

4月3日付けカトリック新聞で諏訪榮治郎神父の高松司教選任を知りました。

新司教は六甲教会出身、私を知る限り六甲教会出身といえる司祭で唯一六甲学院卒業生でない司祭です。青年会時代、子供たちの指導に力を尽くして働いていた姿を思い出します。また、召命にとって家庭が如何に大切かを身をもって証明した司祭だと思っています。私が写した六甲教会での叙階式の写真は教会に保存されているはずです。

多くの問題を抱える高松教区の司牧は極めて困難なときに、主がご自身でこの司教によってその御力を現してくださることを切に願っています。
(ヨハネ三好榮之助)

教会報6月号の発行は、5月29日(日)です。 編集会議は5月22日(日)です。 記事原稿は、5月15日(日)正午までに信徒会館 受付へご提出願います。(広報部) http://www.rokko-catholic.jp	カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21 電 話 078-851-2846 F A X 078-851-9023 発行責任者 松村信也 神父 編 集 広 報 部
--	--